

ロジスティックス 東西南北

SGホールディングス



小学生2人の秀作で飾られたラッピングトラック



室さん（上）、松下さん（下）も嬉しそうだ



クがとても大きくてびっくりしました。恥ずかしいけど嬉しいです。（普段、工事のために取り組んでいるとして）間伐材を使った鉛筆をよく使っています」（室さん）

『たのまほう』は、タコが皆で力を合わせて『ちきゅう』を守ってくれるよう、という思いを込めて描きました。このトラックを、早く皆さんにも見せてもらいたいです。（普段、工事のために取り組んでいるとして）ゴミを川に捨てたりしないで、ちゃんとゴミ箱に捨てています」（松下さん）と可愛らしいコメント。

また、さかなクンも、「2人の絵は、見っていてスギヨーワクワクします！室さんの作品は、『川でよく遊んでいたなあーーー』と小さい頃を思い出し、ずっと残していくたい自然だと改めて感じました」。松下さんの作品は、タコちゃんの魔法のステッキがステッキー！など、とても夢一杯の作品です！これからこの作品がラッピングされたトラックを街中で探すのがとっても楽しみです！」と興奮を隠せない様子。

ラッピングトラックは今春より、全国主要都市を中心に計80台走行する予定だ。

環境大臣賞受賞の絵画を抱いたお洒落なトラックが出陣
佐川急便の持株会社・SGホールディングスは、環境大臣賞に輝いた小学生の力作の絵画をトラックにラッピング、その出発式が2月18日同社東京事務所で行なわれた。

同社が小学生を対象に主催する環境絵画コンクール「SGホールディングス／佐川急便 全国エコ絵画コンクール2016」で2作品が同賞を受賞、これを祝したイベントだ。

応募総数は過去最多の1万4398点に上り、最優秀作品に当たる「環境大臣賞」を受賞した、小学6年生の室 結子さん（兵庫）と、小学1年生の松下 玉磨輝さん（三重）の2作品を、佐川急便トラックのラッピングデザインとして採用。

出発式には、本コンクールで特別

本コンクールは、絵画を通じて次世代を担う子供達に「環境」に対する意識の向上を図る「一助になる」とを目的としたもの。

今年は第3回目で、気になるお題は「守りたい、ぼくたち、わたしたちの地球」。

審査員を務めたさかなクンも駆けつけ、お馴染みの「キヨキヨキヨ」を連発、将来的「画伯」の腕前に改めて目を見張っていた。

審査員を務めたさかなクンも駆けつけ、お馴染みの「キヨキヨキヨ」を連発、将来的「画伯」の腕前に改めて目を見張っていた。

また、自らの作品で彩られたラッピングトラックを前に、室さんは、「凄く大きくてびっくりしました！」と驚きを隠せない様子。また松下さんも、「早く皆さんにも見てもらいたいです！」と、大喜び。ところで、気になる2人の絵に関して、『住吉川で遊ぶ子ども』は、小さくしてだが、

「い頃に住吉川であつたカレー大会のことを思い出して描きました。トラッ

クがとても大きくてびっくりしました。恥ずかしいけど嬉しいです。（普段、工事のために取り組んでいるとして）間伐材を使った鉛筆をよく使っています」（室さん）

『たのまほう』は、タコが皆で力を合わせて『ちきゅう』を守ってくれるよう、という思いを込めて描きました。このトラックを、早く皆さんにも見せてもらいたいです。（普段、工事のために取り組んでいるとして）ゴミを川に捨てたりしないで、ちゃんとゴミ箱に捨てています」（松下さん）と可愛らしいコメント。

また、さかなクンも、「2人の絵は、見っていてスギヨーワクワクします！室さんの作品は、『川でよく遊んでいたなあーーー』と小さい頃を思い出し、ずっと残していくたい自然だと改めて感じました」。松下さんの作品は、タコちゃんの魔法のステッキがステッキー！など、とても夢一杯の作品です！これからこの作品がラッピングされたトラックを街中で探すのがとっても楽しみです！」と興奮を隠せない様子。

ラッピングトラックは今春より、全国主要都市を中心に計80台走行する予定だ。